



旧開智学校校舎 明治9年建築

入館記念

660690

旧開智学校校舎

校舎の建築

旧開智学校は、明治6年（1873）筑摩県学を継承して開校され、同9年校舎を新築した。校舎の新築は、教育を立県の指針とした筑摩県権令永山盛輝のもと、地元住民により計画され、松本の大工棟梁立石清重がはるばる東京へ出向き、東京大学の前身開成学校などを参考にして設計施工した。工費約1万1千円の約7割が地元住民らの献金によるものであった。

重文指定

この建物は、明治5年学制が施行されてまもなく建てられた和洋混交の擬洋風建築で、わが国建築文化史上貴重な遺構として昭和36年（1961）重要文化財に指定された。

昭和の移築・修理

旧開智学校は市内の中心部を流れる女鳥羽川沿いにあったが、同河川改修工事のため昭和39年現在地に移築復元された。開智学校に保管されてきた明治時代から現代にわたる教育資料などの収蔵資料は約11万点にのぼる。その一部を展示して昭和40年から教育博物館として一般公開されている。

〒390-0876 松本市開智2丁目4番12号
旧開智学校校舎
TEL (0263) 32-5725
FAX (0263) 32-5729

大人 1人 （当日限り）